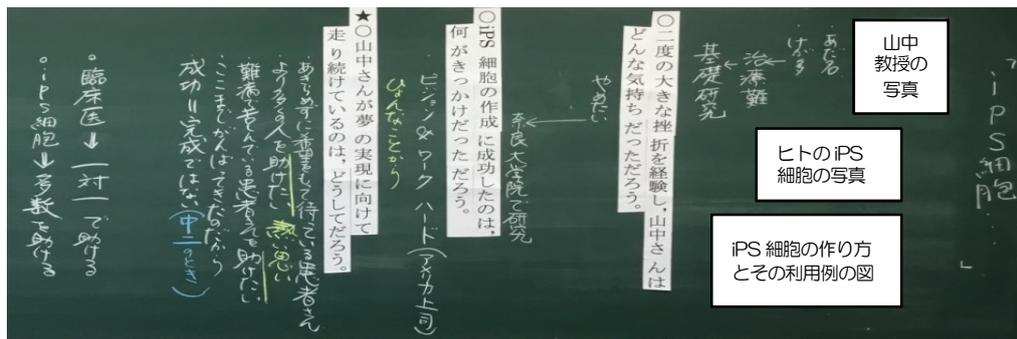


●指導の実際 ～生徒の反応を踏まえて～



大型TVで視聴

再生医療に関する
動画の画面

【テーマに係る工夫】

- ・山中教授の中学校二年生の頃からもっているモチベーションや、思考を重ね、失敗を繰り返し、挫折を味わいながらも探究の情熱や使命を抱いて課題に立ち向かっていく姿を追って、夢を実現させた生き方についての考えを深めることができた。
- ・生徒は、挫折を体験したところや、より多くの患者を助ける熱い思いを持ち続けたところに共感し、自分自身の生き方につなげることができた。

〈生徒の感想〉 諦めずに希望を持ち続けている人を少しでも多く助きたい。

探究心・あきらめない心・恩返し・感謝の心・成功＝完成ではない。

失敗しても大丈夫なように覚悟しておくこと。

一つの道だけでなくいろんな道を通れば良いと分かった。

これでもかこれでもかと追及する作業、誰かの役に立ちたいと思う気持ち。

【深い学びにつなげる工夫】

- ・T1（理科担当教諭）の専門的知識をもって、山中教授について詳しく説明し、タイムリーな臨床のニュース、発見に至る経過やエピソードなどをICT（動画）を利用した導入を行うことで、高い関心を持たせ学習に臨むことができた。
- ・文字を追うことが苦手な生徒や、対話はしても活字に表すことが難しい生徒には、視覚的教材を効果的に使用し学びにつなげることができた。
- ・サポートが必要と思われる生徒も、グループ活動する際に役割をもたせることで、責任を果たそうとし、対話や交流を始め考えようとする行動が見られた。

【成果】

- ・TTの指導の際、生徒の実態や教材の内容によって、担任以外の学年所属の教諭が、専門性を生かしてT1を行っている。専門的な知識で系統づけたり、深めたり、広げたりすることによって、生徒により高い関心や意欲を持たせることができた。
- ・関連の教科や特別活動においても、道徳科の授業をとおして、背景にある先人たちの心の強さなど道徳的価値に触れることにより、心に響く授業が展開できるようになってきている。

【課題～今後に向けて～】

- ・考え対話し、交流する授業はできているが、深まりを持たせる授業には至っていない。そこで、カリキュラム・マネジメントなど、専門性を生かした授業づくりをさらに進め、生徒の実態に応じて指導方法等の工夫改善に努めていく。また、深い学びに導くため、人的物的資源を取り入れながら、生徒の思考をつなぎ、生徒が納得や発見ができるよう、効果的にねらいに迫る教材研究を進めていく。